

※一部非公開

令和2年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（国際的思考系）

（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

Passage Aと**Passage B**の英文を読んで、あとの各問に答えなさい。なお英文において、語句の右上に「注」が記してある語句は、文末に注が記されているので参考にしなさい。

非公開

非公開

出処: 2019年7月24日付 *The Sydney Morning Herald* の記事 “I climbed Uluru, but I wish I had not” (<https://www.smh.com.au/national/i-climbed-uluru-but-i-wish-i-had-not-20190724-p52aan.html>) を一部改変。

非公開

<注>

注(1) Aboriginal アボリジニ (オーストラリアの原住民) の

注(2) Chief Secretary of South Australia 南オーストラリア州事務長官。

注(3) on hands and knees 四つんばいになって

注(4) fitness 良好な体調

注(5) the upcoming ban on climbing Uluru 来るべきウルル登山の禁止

(ウルル登山は2019年10月26日以降、禁止された。上記の Passage A と Passage B はそれ以前の意見であるため、本文では「来るべき」という表現になっている。)

問1

Passage A の著者は16歳の時にどのような経験をしましたか。また、大人になった現在ではその時の経験をふり返ってどのような考えを持っていますか。300字以上400字以内で述べなさい。

問2

Passage B は、**Passage A** を読んだ人が書いた意見です。**Passage A** と **Passage B** の書き手の意見の相違点を指摘し、それをふまえたあなたの意見を700字以上、800字以内で述べなさい。

令和2年度入学試験問題（後期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（国際的思考系）

（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

出題の意図

この問題は、本学部のあげる3つのアドミッションポリシーの中でも「現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対する関心」や「他者や異文化の持つ多様な価値観に対する柔軟な態度」など、特に国際的な思考に関わる能力を測ることを意図している。オーストラリア原住民の聖地であると同時に世界的観光名所となっているエアーズロックの登山の是非をめぐる対照的な意見の英文を読ませ、異文化理解の観点から場所のもつ意義を問う設問に日本語で答える形式とした。英文読解の正確さと、日本語で主体的に自分の意見を論理的に論述する能力を測る。